

平成24年度埼玉県小・中学校学習状況調査【調査結果】

－蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 調査の概要

- (1) 実施期日 平成24年4月24日(火)
 (2) 対象学年 小学校第5学年 中学校第2学年
 (3) 調査事項

ア ペーパー調査(教科に関する調査)

小学校調査は、国語・社会・算数・理科の4教科

中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科

出題範囲は、前学年までに学習した内容となっています。

イ 児童・生徒を対象とした質問紙調査

学習状況等に関する調査で23項目となっています。

2 調査結果の概要

(1) ペーパー調査(教科に関する調査)

全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> 24年度調査の本市の結果は、小学校5年生では内容別正答率が16項目中16項目で、埼玉県の平均正答率を上回り、中学校2年生では内容別正答率が15項目中15項目で、埼玉県の平均正答率を上回っている。
-------	---

【小学校第5学年】(平均正答率 単位%)

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	85.9	86.6
	書くこと	65.0	68.6
	読むこと	72.3	75.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.6	86.3
社会	身近な地域や市町村	74.9	76.6
	地域の人々の生産や販売	84.4	87.7
	飲料水・電気等の確保や廃棄物の処理	70.7	75.3
	災害及び事故から人々の安全を守る工夫	90.0	91.7
	地域の人々の生活	78.7	89.4
	県の様子	67.0	71.1

算数	数と計算	78.1	82.9
	量と測定	65.1	68.3
	図形	57.6	62.9
	数量関係	63.7	69.8
理科	物質・エネルギー	67.5	72.3
	生命・地球	61.9	69.2

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p style="text-align: center;">国 語</p> <p>[問題数：22問]</p> <p>□県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 語句の意味を正しく理解している。</p> <p>○ 学習した漢字を正しく読むことができる。</p> <p>○ 話し手の話す内容を的確に聞くことができる。</p>	<p>● 一文を接続語を使って二文に分けて書くことができる。</p> <p>● 文の構成（主語・述語）について理解している。</p>
<p style="text-align: center;">社 会</p> <p>[問題数：20問]</p> <p>□県の平均正答率と蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 地図から景観を読み取ることができる。</p> <p>○ 消防署で働く人の火事に備える体制について読み取ることができる。</p> <p>○ 消費者の願いと販売の仕事に従事する人々の工夫を関連付けて考えることができる。</p>	<p>● 地図記号の読み取りを通して、地域の様子を説明することができる。</p> <p>● 2つの市の地理的位置関係を八方位で表すことができる。</p>
<p style="text-align: center;">算 数</p> <p>[問題数：28問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 小数の加法の計算ができる。</p> <p>○ 分度器を用いて角の大きさを測ることができる。</p> <p>○ 小数の相対的な大きさについて理解している。</p>	<p>● 面積の単位の大きさを用いることができる。</p> <p>● 図形の特徴を理解している。</p> <p>● 伴って変わる二つの数量の関係を調べ、未知の数量を求めることができる。</p>
<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□県の平均正答率に比べ、蓮田市の</p>	<p>○ 季節ごとの植物の成長について理解している。</p> <p>○ 磁石に付けると磁石になる物があることを理解している。</p> <p>○ 日光を重ねた時の物の</p>	<p>● 物は、体積が同じでも重さが違うことがあることを理解している。</p> <p>● 正午の太陽の位置とかげのでき方を理解している。</p>

平均正答率は高い。	暖かさを理解している。	● 昆虫の体のつくりを理解している。
-----------	-------------	--------------------

【中学校第2学年】（平均正答率 単位％）

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	84.8	89.5
	書くこと	72.1	77.3
	読むこと	69.6	73.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.6	84.3
社会	地理的分野	71.1	75.6
	歴史的分野	50.8	59.2
数学	数と式	77.0	79.2
	図形	61.5	65.5
	関数	60.6	64.4
	資料の活用	68.4	74.0
理科	第1分野	54.1	56.2
	第2分野	56.8	60.7
英語	聞くこと	80.1	83.8
	読むこと	68.3	74.2
	書くこと	65.9	73.0

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p style="text-align: center;">国 語</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 漢字を正しく読むことができる。</p> <p>○ 要点をとらえながら、話の内容を聞き分けることができる。</p> <p>○ 集めた材料を分類して整理することができる。</p>	<p>● 登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。</p> <p>● 登場人物の描写に注意して読み、物語の内容を理解することができる。</p>

<p style="text-align: center;">社 会</p> <p>[問題数：20問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 中国の位置や特色を理解している。</p> <p>○ オーストラリア大陸の特色について理解している。</p> <p>○ 古代から中世の我が国の歴史に見られる国際関係のあらましを正しく理解している。</p>	<p>● 平安時代の政治は貴族が中心であることを資料を見て考え、表すことができる。</p> <p>● 政治の中心地について地図上で位置を理解している。</p> <p>● 室町時代の政治の仕組みを正しく理解している。</p>
<p style="text-align: center;">数 学</p> <p>[問題数：25問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 正の数、負の数の加法や減法の計算ができる。</p> <p>○ 数の数直線上の位置を理解している。</p> <p>○ 比例の表について理解している。</p>	<p>● 具体的な二つの数量の関係が反比例である理由を、説明することができる。</p> <p>● 球の体積を求める式について理解している。</p>
<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>[問題数：22問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 二酸化炭素は石灰水を白くにごらせることを理解している。</p> <p>○ 地震計に記録された初期微動や主要動の様子から、震源との距離を推定できる。</p> <p>○ 地震の小さな揺れに続く大きな揺れが主要動であることを理解している。</p>	<p>● 質量パーセント濃度を求めることができる。</p> <p>● 水溶液の温度変化と溶解度の関係を正しく関連付けられる。</p>
<p style="text-align: center;">英 語</p> <p>[問題数：27問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 過去形で表現された文を聞いて、その内容を正しく理解することができる。</p> <p>○ まとまりのある英語を聞いて、内容を理解することができる。</p> <p>○ 与えられた情報に応じて前置詞を正しく書くことができる。</p>	<p>● 一般動詞の疑問文で表現されている言語の働きを理解し、それに適する応答分を選ぶことができる。</p> <p>● 否定の平叙文または否定の命令文を正しい語順で書くことができる。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (県平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校5年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、良好な結果となっております。 ○よい学習環境の中で、意欲的に生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○近所の人へあいさつができています。 ○友だちとの約束が守れています。 ○「勉強は大切だ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、9割以上の結果となっております。 △授業でノートをていねいに書くことを苦手としています。</p>
<p>中学校2年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、良好な結果となっております。 ○よい学習環境の中で、意欲的に生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○毎朝きちんと朝食をとっています。 ○友だちとの約束が守れています。 ○「勉強は大切だ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、9割以上の結果となっております。 △県平均を超えるものの「勉強が好きだ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、4割程度の結果となっております。</p>

3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校に課題分析表を作成させ、課題解決の具体的な方策を立てさせて、実践・評価を行います。それに対して適宜、指導・助言を行います。 ○各学校が基礎基本の習得や思考力・判断力・表現力等を育成する学習指導の時間が確保できるように教育課程の見直し改善を行います。 ○学校課題に沿った PTA、学校応援団、放課後子ども教室などの活動を実施し、学校の教育活動を支援します。
<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用します。 ○「わかる授業」を実践するために、研修を通して、学習指導法の工夫・改善を行います。学習規律の徹底も図り、どの子ども達成感が味わえる授業を推進します。 ○学校公開や保護者会、学校だより等を活用し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着、地域の行事への参加等について、働きかけ、三者の連携による教育を推進します。
<p>家庭・地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、子どもの生活習慣を見直し、改善点があれば家庭で、じっくりと話し合うことが重要です。 ○家庭学習を充実させるために、子どもの学習面でのつまずきを把握し、学校と共に家庭学習の習慣化を図ることが大切だと考えます。 ○子どもの躰は家庭で行うことが根本です。「早寝・早起き・朝ご飯」の実践、あいさつ、返事等の基本的な生活習慣、社会生活のルールやマナーを家庭や地域で、責任を持って教えることが求められています。